

NPO 法人ウッドデッキ第4回シンポジウム(2025)アンケート結果

シンポジウム開催後に参加者にアンケート協力を依頼し、回答いただきました。その結果を以下にまとめました。

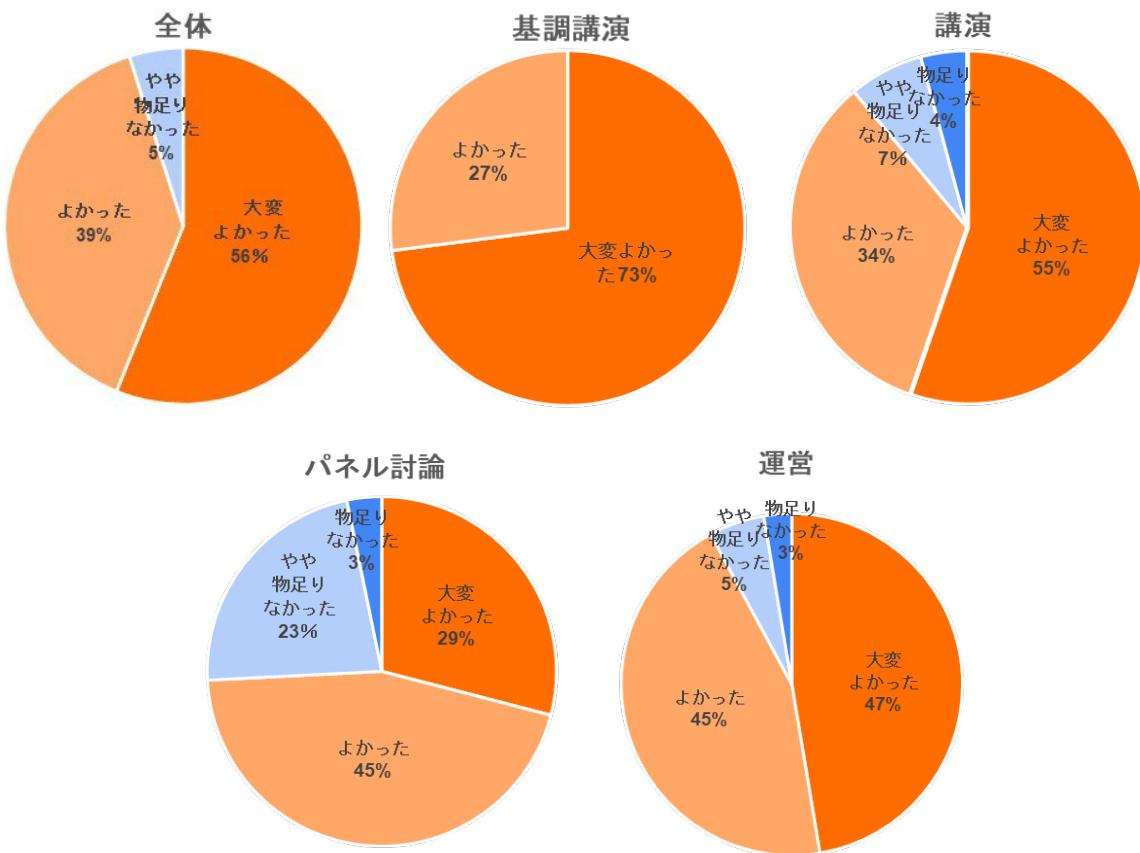
1. アンケート実施・回答

実施方法：google フォームへの記入

回答期間：2025年10月31日（金）—11月9日（日）（10日間）

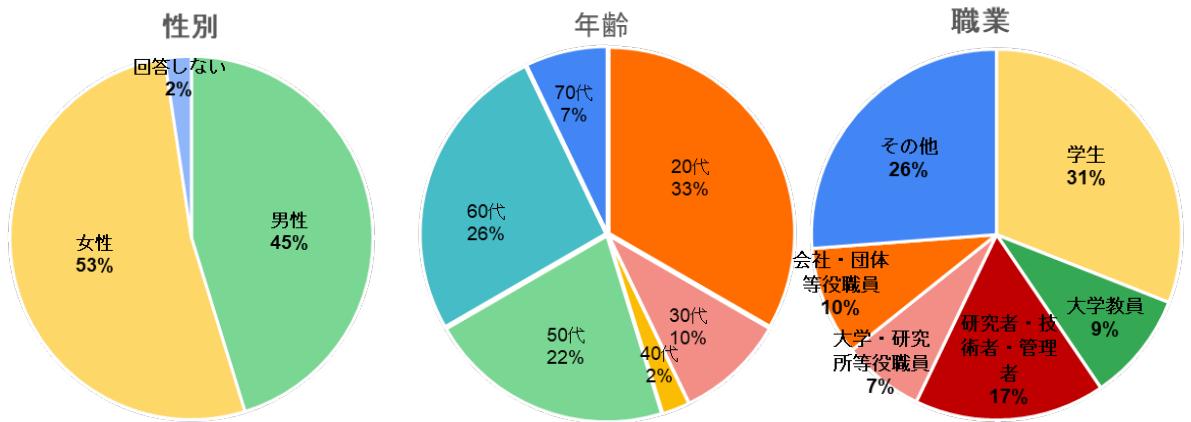
回答数：42 （参加者：148名、回答率：28%）

2. 参加の感想



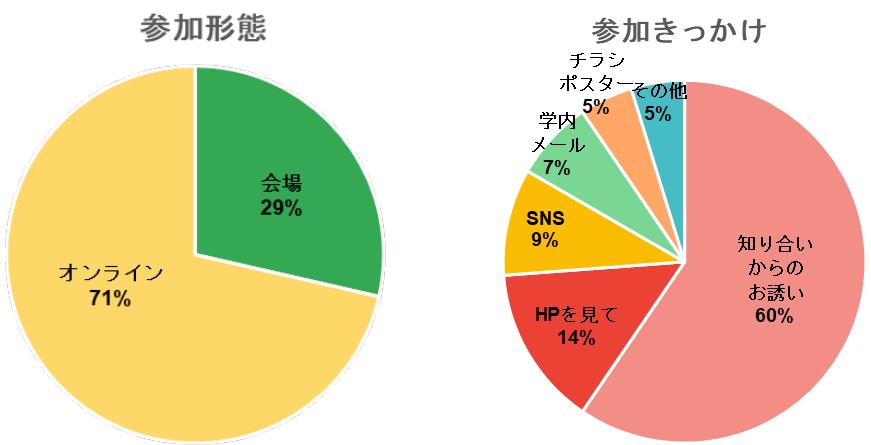
- ・全体として95%が「大変よかったです」「よかったです」と回答
- ・基調講演は全員が「大変よかったです」「よかったです」と回答、特に「大変よかったです」が73%と高かった
- ・講演はばらつきがあるものの、講演全体としては89%が「大変よかったです」「よかったです」と回答
- ・パネル討論は時間が短く、「大変よかったです」「よかったです」は74%に留まった
- ・運営は92%が「大変よかったです」「よかったです」と回答

3. 参加者



- 参加者（アンケート回答者）は女性が男性より多かった
- 年齢は20代、職業は学生が最多、これは企画趣旨と一致

4. 参加形式／きっかけ



- 会場参加は当日の集計で30%であったが、アンケート結果では29%でほぼ同一
- 参加のきっかけは知合いからのお誘いが60%で最多

5. 自由記述

<企画について>

- ・普段あまり聴かない内容のお話でしたので大変勉強になりました、新たな視点を獲得でき、感謝しています。
- ・我々や研究者は日常からこういった問題を意識しながら取り組むべきと感じた。今後も最先端の研究の共有を希望いたします。
- ・齊藤先生が札幌に来ると知り今回参加させて頂きました。
- ・今後求めるのは今世界で起きている自然破壊をテーマにした講演をして欲しいと思っています。
- ・「絶滅危惧種が絶滅して何が悪いか解らない」、「熊なんか殺して絶滅すれば良い」という意見を目にする事があり、その感性に驚くのですが、論理的に説明できず、とても歯痒く感じています。

<講演とパネル討論について>

- ・全体的にとても良かった、疑問を感じた点は、パネルディスカッションの質疑で地球環境や途上国の衛生問題等、重要なテーマが概ね解消できた。
- ・薬剤耐性に関するお話や、環境衛生に関するアフリカなど日本以外の国がどのような現状なのか、どのような調査を行っているかなど、今まで学ぶことができない内容をたくさん勉強することができました。

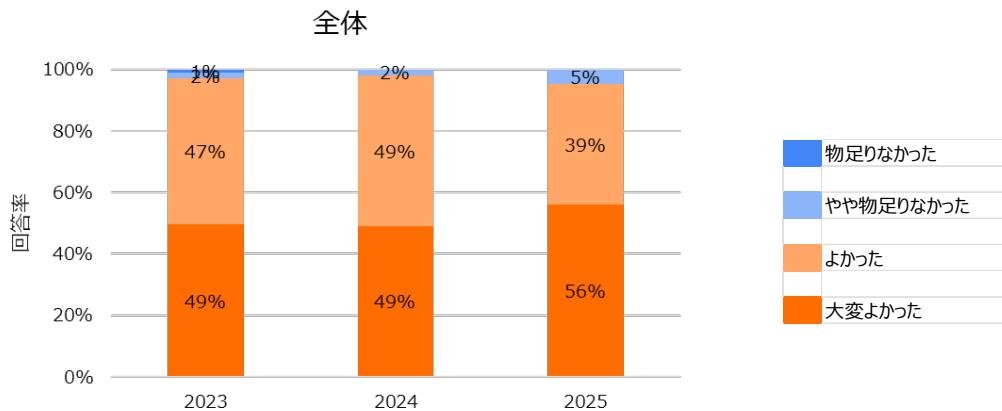
<運営>

- ・時間が過ぎても開始しないのに何もアナウンスがなく身内で楽しそうにしていて感じが悪かった。
- ・司会がPC操作も行っていて無理があると思った。

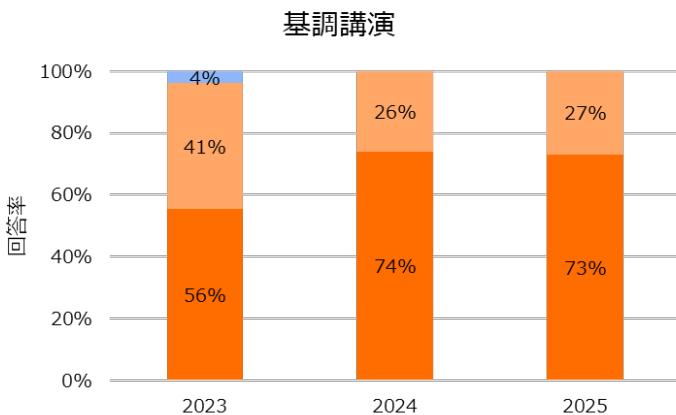
<今後への期待>

- ・学際的で、幅広い年代の見解を取り入れた厚みのあるシンポジウムを期待します。
- ・今回の様な人の変化に関連した内容のテーマを望みます。
- ・人に焦点を当てたテーマであれば、いずれでも参加したい。

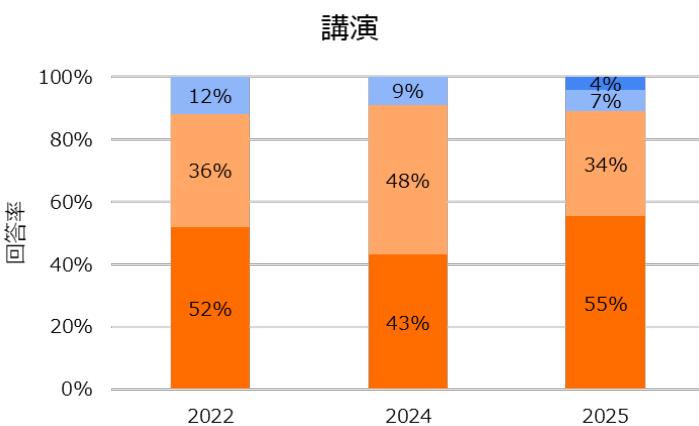
6. 従来シンポジウムとの比較（推移）



※2022（初回）は全体についてのアンケートなし

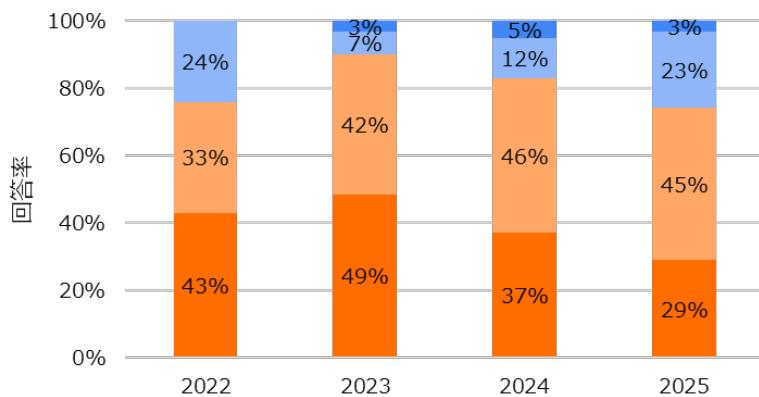


※2022（初回）は基調講演なし

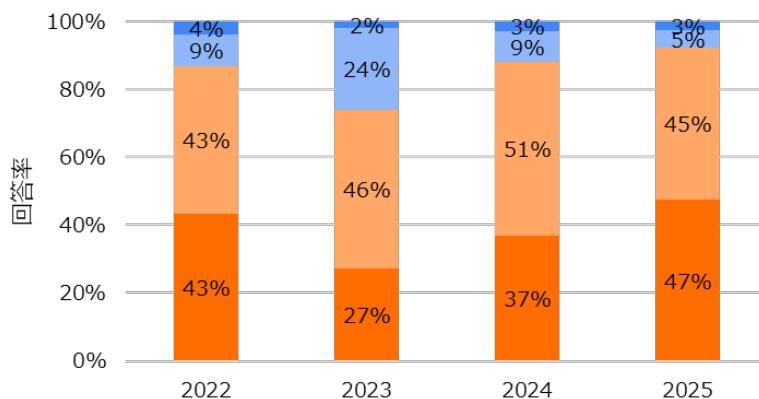


※2023は基調講演のみで講演はなし

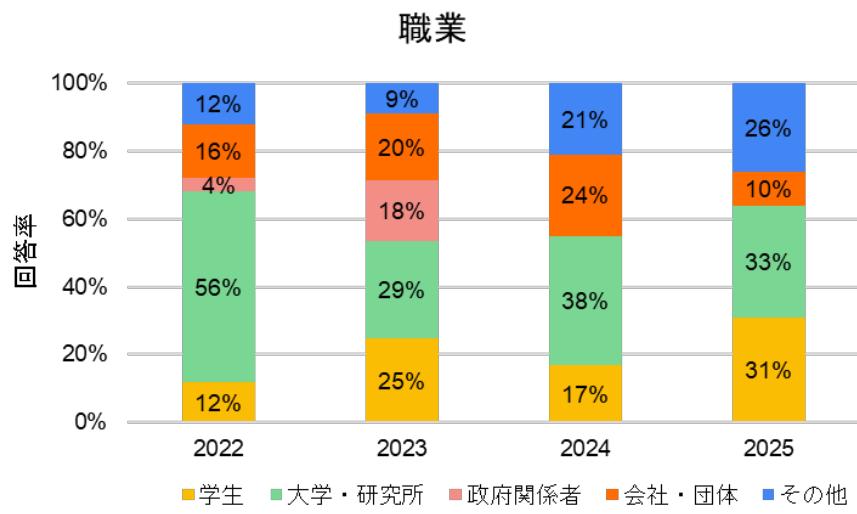
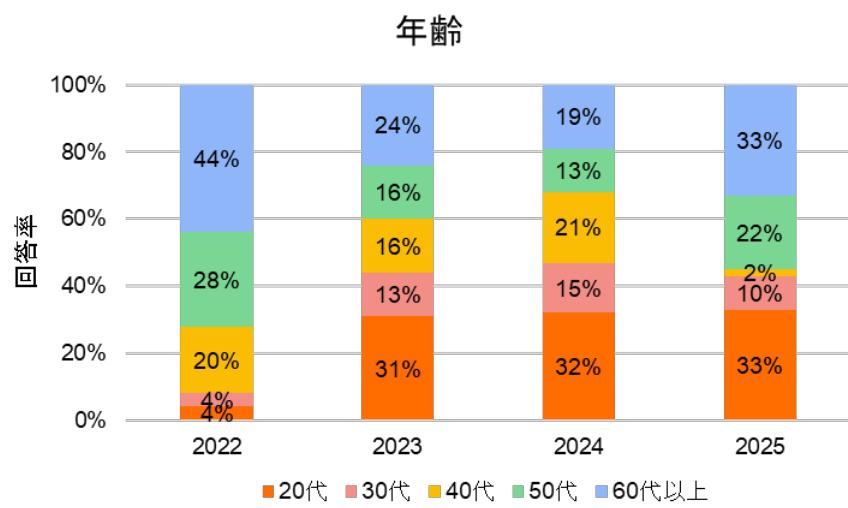
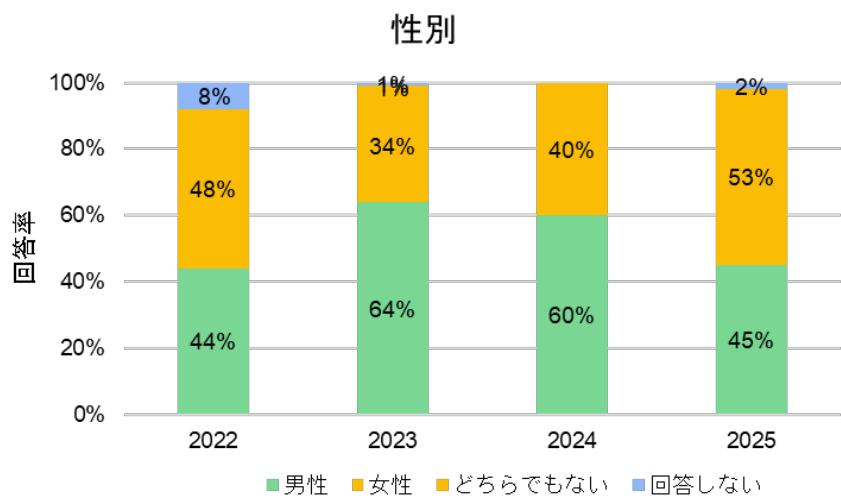
パネル討論



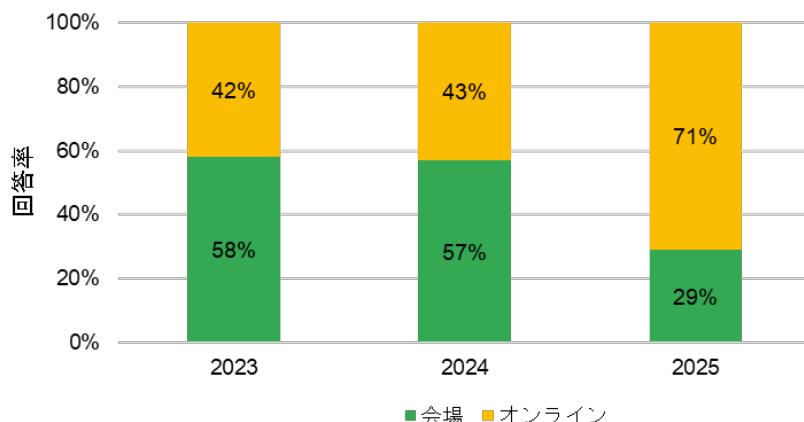
運営



- ・全体として毎回 95%以上が満足（「大変よかった」と「よかった」）
- ・基調講演は全体の中で最も満足度が高く、2024 と 2025 が特に高評価
- ・講演も常に 88%以上満足
- ・パネル討論は満足度が減少気味で時間配分などが課題
- ・運営は 2024 以降満足度が上昇傾向

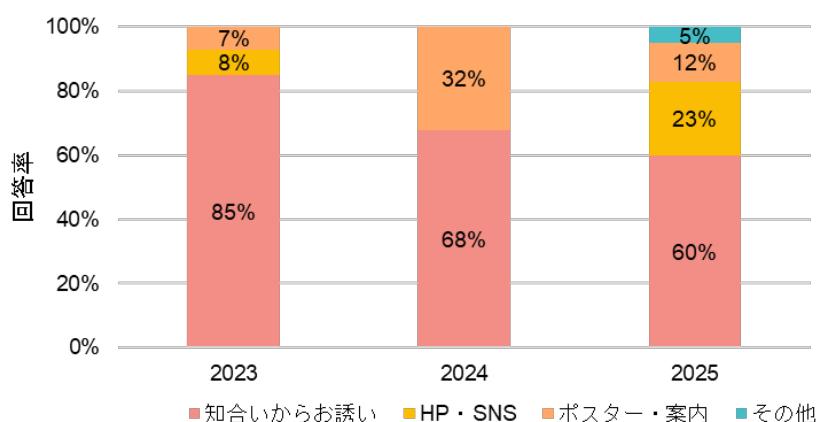


参加形態



※2022（初回）は全体についてのアンケートなし

参加きっかけ



※2022（初回）は全体についてのアンケートなし

- ・性別は女性がこれまでで今回が最多
- ・年齢は20代が増加傾向
- ・学生参加は今回が最多
- ・今回はオンライン参加が7割と最多
- ・参加きっかけはいつも知合いからのお誘いが最多、今回はHP・SNSが有効